

機械器具 48 注射筒
一般医療機器 歯根膜内麻酔用注射筒 JMDN 35869000

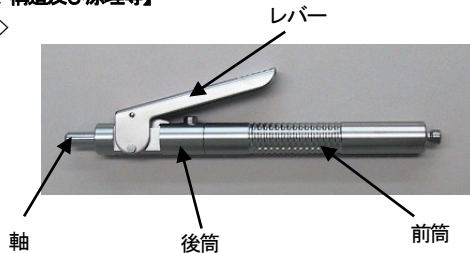
パロジェクトシリンジ

*【禁忌・禁止】

深い歯周ポケットがある場合: 歯周ポケットを消毒できないような深い場合は使用しないこと。
[ポケット内の細菌を歯根膜内に押し込んでしまうおそれがある。]

*【形状・構造及び原理等】

〈外観〉



注入量: 0.06ml / 1 クリック

【使用目的又は効果】

レバーによる圧力式の歯根膜麻酔用注射器。

【使用方法等】

1. 注射器を前筒とレバーのついた後筒に分ける。
2. 後筒からネジのある軸を力を入れて引き抜く。
3. 前筒にディスポーザブル注射針(本届出対象外)を装着する。
4. 前筒に標準 1.8ml 注射液カートリッジ(本届出対象外)を挿入する。
5. 前筒に後筒をねじ込み、元通りに組立てる。
6. 注射器の後方から軸を挿入する。軸は頭が平らになっている方から挿入し、カートリッジに当たるまで入れる。
7. レバーを押して注射液が出るかどうか試す。
8. 使用後は、洗浄して滅菌を施し保管する。

滅菌方法: オートクレーブ

(滅菌条件 例: オートクレーブ 135℃ 15 分)

【使用上の注意】

詳細については、取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。

1. 歯石や歯垢が付着している不潔な歯肉溝への刺入は避けること。
2. 歯周組織に急性炎症がある時は、使用できないので注意すること。
3. 急速に麻酔薬を歯根膜内に注入すると、過剰な負担が歯根膜にかかり、軽度の歯根膜炎やドライソケットを併発する恐れがあるので、麻酔薬の注入量や圧力には十分な注意を払うこと。
4. 歯肉や歯槽骨などの外科的な処置や手術に歯根膜麻酔は適さないので注意すること。
5. 本製品を用いて歯根膜麻酔を始める前に、消毒薬で歯牙、歯周組織をよく消毒すること。

*【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響が生ずるおそれがない場所に保管すること。

2. 耐用期間

製造の日から、正規の保守点検を行った場合に限り 5 年間とする。
[自己認証(当社データ)による]

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者及びお問い合わせ先

株式会社吉田製作所

TEL : 03-3631-2204 (海外事業部)

FAX : 03-3635-1060 (海外事業部)

外国製造業者: ロンビク社

【Ronvig Dental Mfg. A/S】デンマーク

販売業者

クロスフィールド株式会社

TEL : 03-5625-3306

FAX : 03-3635-1060

文書番号 ZZ 添 043-4